(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年 6月 3日

京都府知事 様



提出者

住 所 東京都板橋区成増5-9-7 氏 名 ㈱湖池屋 代表取締役 佐藤 章 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-3979-2115

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	株式会社 湖池屋 京都工場
事	業場の所在地	京都府南丹市園部町千妻マカリ 1-1
計	画 期 間	2024年4月1日~2025年3月31日
当該	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	その他のパン菓子製造業
	②事業の規模	139億円
	③従 業 員 数	420人
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	 有機性汚泥→堆肥化(直接委託処分) 動植物性残渣(芋クズ)→堆肥化(直接委託処分) 動植物性残渣(芋皮)→堆肥化(直接委託処分) 動植物性残渣(返品等)→焼却→熱回収(直接委託処分) 廃プラスチック →焼却→固形燃料化(直接委託処分) →焼却→熱回収(直接委託処分) 廃油→飼料化(直接委託処分)

(日本工業規格 A列4番)



産業	産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項					
	(管理体制図)					
産業	- 業廃棄物の排出の抑制に	関する	事項			
		【前年	三度 (2023	年度)実績】	
		産業	廃棄物の)種類	動植物性残渣(芋皮)	動植物性残渣(返品等)
		排	出	量	495.7 t	28.4 t
	 ① 現状	(これ	までに	実施した	こ取組)	
		【目標	Į.			
		産業	廃棄物の)種類	動植物性残渣(芋皮)	動植物性残渣(返品等)
		排	出	量	545. 2 t	31. 2 t
	्री का	(今後	後実施す	る予定の	7取組)	
	②計画		COCNEY	3 1 / C ·	> + (\(\) 111/	
75: 7						
座き	と 大学 かって 100 × 1	# rZ				
İ	 	事項				
			引してい	る産業原	廃棄物の種類及び分別に 関	関する取組)
	 		川してい	る産業原	廃棄物の種類及び分別に 関	関する取組)
			引してい	る産業原	廃棄物の種類及び分別に 関	関する取組)
		(分別			密棄物の種類及び分別に関 の産業廃棄物の種類及び分	
		(分別				

産業	業廃棄物の処理に係る管	理体制に	関する	事項		
	(管理体制図)					
産業	・ 業廃棄物の排出の抑制に	関する事	項			
		【前年』	度(2023	年度)実績】	
		産業廃	逐棄物 <i>0</i>)種類	廃プラスチック	廃油
		排	出	量	195. 8 t	0.2 t
	 ① 現状	(これ)	までに	実施した	こ取組)	
		【目標】]			
		産業廃	運棄物 の)種類	廃プラスチック	廃油
		排	出	量	215. 3 t	0. 2 t
		(今後)	主施す	る予定の	7取組)	
	②計画	(/ 1003		.20 1 VC A		
¬†: →	と 大学 かった 100 × 1	# 75				
座 🤊	業廃棄物の分別に関する 「	事 垻 				
	0.77	(分別	してい	る産業原	軽棄物の種類及び分別に関する	取組)
	①現状					
		(今後)	分別す	る予定の	の産業廃棄物の種類及び分別に	関する取組)
	②計画	I				

自	ら行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項		
		【前年度(年度)実績】	
		産業廃棄物の種類		
	①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した	こ取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(A) I I III	(今後実施する予定の	つ取組)	
自	ら行う産業廃棄物の中間	処理に関する事項		
		【前年度(2023年度)実績】	
		産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	1362. 0 t	t
		(これまでに実施した 汚泥乾燥機導入にて)		1
		イブルロギムが代表を	以里	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	1498. 2 t	t
		(今後実施する予定の		1
			D Improve	

自ら行う産業廃棄物の埋	世立処分又は海洋投入処分	に関する事項	
	【前年度(年度)実績】	
	産業廃棄物の種類		
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した	- 取組)	
	【目標】		_
	産業廃棄物の種類		
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の処理の委託	(今後実施する予定の Eに関する事項)取組)	
	【前年度(2023度)	実績】	
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	全処理委託量	210. 6 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	210.6 t	t
① 現状	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した	上取組)	

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
		全処理委託量	231.6 t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	231. 6 t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の)取組)	
※	事務処理欄			

	っ行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分	に関する事項	
		【前年度(年度)実績】	
		産業廃棄物の種類		
	①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した	こ取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	大学女 Ma ひ M TH の チャン) z	(今後実施する予定の)取組)	
) 座 🦻	業廃棄物の処理の委託に ┌			
		【前年度(2023年月		T
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣(学クズ)	
		全処理委託量	838. 5 t	t
		全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量	838. 5 t	t
		優良認定処理業者への		
	① 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	① 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	838. 5 t	t
	① 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への	t 838. 5 t	t t
	① 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t 838. 5 t	t t
	① 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t 838. 5 t	t t
	① 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t 838. 5 t	t t

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	動 植 物 性 残 渣 (芋クズ)	
		全処理委託量	922. 3 t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	922. 3 t	t
	@#1.#F	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の)取組)	
※ [事務処理欄			

自	ってう産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分	に関する事項	
		【前年度(年度) 実績】	
		産業廃棄物の種類		
	①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した	こ取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の	D取組)	
産	業廃棄物の処理の委託に 「	関する事項		
		【前年度(2023 ^左	F度)実績 】	
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣(芋皮)	
		全処理委託量	495. 7 t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	495. 7 t	t
	① 現状	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(これまでに実施した	と取組)	
1				

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣(学皮)	
		全処理委託量	545. 2 t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	545. 2 t	t
	@#I ##	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の)取組)	
※ [事務処理欄			

自	っ行う産業廃棄物の埋立	- 三処分又は海洋投入処分	に関する事項	
		【前年度(年度)実績】	
		産業廃棄物の種類		
	①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した	を取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の	の取組)	
産	業廃棄物の処理の委託に 「	関する事項		
		【前年度(2023年	F度)実績 】	
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣(返品等)	
		全処理委託量	28. 4 t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
	① 現状	認定熱回収業者への 処理委託量	28. 4 t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(これまでに実施し/	こ取組)	
		1		

【目標】		
産業廃棄物の種類	動植物性残渣(返品等)	
全処理委託量	31.2 t	t
優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
再生利用業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者への 処理 委託 量	31.2 t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の)取組)	
	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託 認定熱回収業者への 処理委託 認定熱回収業者への 処理委託 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	産業廃棄物の種類動 植 物 性 残 渣 (返品等)全 処 理 委 託 量31.2 t優良認定処理業者への 処 理 委 託 量t再生利用業者への 処 理 委 託 量t認定熱回収業者への 処 理 委 託 量31.2 t認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者へのt

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
	①現状	【前年度(年度) 実績】				
		産業廃棄物の種類					
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t			
		(これまでに実施した	上取組)	•			
	②計画	【目標】					
		産業廃棄物の種類					
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t			
(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
		【前年度(2023年	三度) 実績】				
		【前年度(2023年 産業廃棄物の種類	E度)実績】 廃プラスチック	廃油			
			_	廃油 0.2 t			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック				
		産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への	廃プラスチック 195.8 t	0.2 t			
	① 現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量	廃プラスチック 195.8 t t	0. 2 t 0. 2 t			
	① 現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	廃プラスチック 195.8 t t 195.8 t	0. 2 t 0. 2 t			
	① 現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者へ 処理委託 認定熱回収業者への 処理委託 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への	廃プラスチック 195.8 t t 195.8 t 0 t	0.2 t 0.2 t t			
	① 現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託配理業者への 処理委託の 処理委託 副収業者以外の 熱回収を行う業者の 処理委託	廃プラスチック 195.8 t t 195.8 t 0 t	0.2 t 0.2 t t			
	① 現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託配理業者への 処理委託の 処理委託 副収業者以外の 熱回収を行う業者の 処理委託	廃プラスチック 195.8 t t 195.8 t 0 t	0.2 t 0.2 t t			

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油
		全処理委託量	215. 3 t	0.2 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	0.2 t
		再生利用業者への 処理委託量	215. 3 t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の)取組)	
**	事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。